

◆ 平成30年度 活動報告シート ◆

団体名：認定 NPO 法人 川口市民環境会議

21A-04

代表者：代表理事 浅羽理恵

URL：<http://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife/>

1. 活動が必要とされた状況

子ども環境フォーラムは、川口市内の小・中・高校生を対象とした環境活動の発表の場として毎年開催しています。川口市は市街地と郊外地区とは自然環境が異なり、それぞれの地域特性を生かした環境活動が行われており、それぞれの活動報告を聞く中で活動の体験を共有していくことが大切だと考えます。また、発表の場があるということで、子どもたちの日々の活動の励みとなります。活動発表後は環境をテーマとしたワークショップを行います。ワークショップには地域で環境活動にたずさわる方々を講師として、身近な自然の観察、廃棄物を用いた工作、エコクッキングなどを行います。参加した児童、生徒と楽しみながら体験し、生活の中での環境とのかかわりに気付く場を作ることが必要と考えています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

実施時期 2018年11月3日（土） 実施場所 川口市立鳩ヶ谷小学校

参加人数 約190名

活動内容 環境活動発表 5グループ ワークショップ体験 9グループ

3. 活動の成果

今年の子ども環境フォーラムは初めて鳩ヶ谷地区で開催しました。この地域は自然環境が豊かで、また、歴史を偲ばせる場所も豊かな地域です。そこで地域で環境活動をしているグループの協力を得て、町中で歴史遺産を探したり、鳩ヶ谷特有の地形をさがしたりする新しいワークショップも実施できました。参加者も多く、初回から参加しているという保護者アンケートの声もありました。例年、心待ちにしてくれている児童たちもいます。また、今年は鳩ヶ谷小学校の協力で、初めて開催校から50名以上の参加がありました。継続的な活動は年々後輩に受け継がれていて、楽しみです。



4. 今後に残された課題

開催日が土曜日、または日曜日となるため開催学校を確保するのが年々難しくなっています。発表者も継続的に取り組んでいる学校や、一部の熱心な先生方に負うことが多い現状です。今後は、開催場所を学校に限定せずに公民館やその他も検討していく必要があると思われます。また、NPOや協力してくれるボランティアが高齢化しており、継続していくためには人材の確保も必要です。